

総務文教委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	1
-----	---

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検 評価 項目	2 夢に向かい、カブよく社会を生き抜く力を養成するための小中一貫した環境づくり
	(1)魅力ある教育活動を展開し「生きる力」を培う学校づくりの推進
	①学力の充実と向上(知)

具体的な 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や学習習慣の確立による学習意欲の向上を目指します。 ・言語活動を充実します。 ・図書館と学校との連携を図りながら、学校図書館への支援を行い、子どもの読書活動の推進に努めます。 ・質の高い学力を身につけるための工夫改善の取組を推進します。
--------------	--

数値目標	授業がよくわかると回答した子どもの割合(全国学力学習状況調査)					
	基準数値	小学校78.65% 中学校65.95%	H30年度末 目標数値	小・中学校 80.0%超	H28年度 実績数値	小学校81.45% 中学校72.40%
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

学力の充実と向上に向け、下記の取組を実施

- 中学校区ごとに小・中学校が連携し、義務教育9年間を連続した学習指導の充実、小中一貫教育に向けたカリキュラムの作成。
- 少人数学級やティームティーチング等、一人ひとりの能力や個性を最大限に引き出す指導。
- 夢チャレンジサポート事業の実施
子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材を育成するために、夢講演会の開催や学力向上に向けた支援を実施。
- 夢チャレンジサポート事業
 - ・学力チャレンジ・英検チャレンジ・夢サポート事業・夢講演会の実施
 - ・基礎学力の定着に向けた学習サポーターの配置
- 言語活動の推進のため、様々な学習の場で自分の考えを述べたり、他人の意見を聞いたりする取組を意識し、思考力・判断力・表現力を育む授業づくり。
- 図書館職員による小・中学校への支援として、図書館の職員が小・中学校へ出向き、児童・生徒に本を紹介するブックトークの実施や図書館蔵書の学校への貸出し、学校図書室に関する相談・支援を実施
- 教員の資質能力の向上のため、各種研修会や先進地視察を実施
- 研究実践校の指定など、各小・中学校に教科等の研究推進のための支援を実施

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

児童生徒の基本的な生活習慣や学習習慣を確立しながら、質の高い学力を身につけるための工夫改善を継続して取り組んでいきます。

担当課	教育総務課、学校教育課
-----	-------------

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検評価項目	2 夢に向かい、カブよく社会を生き抜く力を養成するための小中一貫した環境づくり
	(1)魅力ある教育活動を展開し「生きる力」を培う学校づくりの推進
	④個に応じた教育の充実

具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の能力や個性を伸ばすため、多様なニーズに対応した創意ある教育活動を展開します。 少人数授業やチームティーチングなど少人数教育を推進します。 きめ細かな個別指導や支援、関係機関等との連携により、不登校の未然防止と解消を目指した総合的な取組を充実します。 特別支援教育支援員の配置等を推進します。 個々の教育的ニーズに応える適切な特別支援教育を推進します。 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制を充実します。 通級指導教育を充実します。 就学指導委員会を中心とする教育相談体制を充実します。
----------	--

数値目標	不登校の出現率					
	基準数値	小学校0.60% 中学校3.27%	H30年度末 目標数値	小学校0.31% 中学校2.63%	H28年度 実績数値	小学校0.66% 中学校2.90%
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

- 夢チャレンジ事業の実施
 - 中学校各学年統一の学習診断テストを実施(市独自)
 - 英語検定にチャレンジする意欲のある生徒に検定料を支援
 - 将来の夢を考えるきっかけとするため、外部講師による講演会を実施 など
- いじめ・不登校対策事業

不登校児童生徒を支援するため、教育支援センターに相談員やカウンセラーを配置
- その他
 - 特別支援教育支援員を積極的に配置し、個々の教育的ニーズを必要とする児童生徒に対して手厚い支援を行った。
 - 特別支援教育コーディネーターや通級指導教室担当者を中心として特別支援教育の校内支援体制の充実に取り組んだ。
 - 就学指導委員会を中心に、小中学校の教育相談及び巡回指導の充実に取り組んだ。

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

一人一人の個に応じた教育的ニーズに対応すべく、実態を的確に把握し、教育的支援や合理的配慮を可能な範囲で、継続推進していきたいと考えております。また、いじめや不登校に対しては未然防止に努めてまいります。

担当課	学校教育課
-----	-------

総務文教委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No. 3

第1編	まちづくり戦略
第3章	次代を担う人材の育成戦略
第1節	次代を担う人材を育成する環境づくり

点検 評価 項目	2 夢に向かい、力づく社会を生き抜く力を養成するための小中一貫した環境づくり
	(1)魅力ある教育活動を展開し「生きる力」を培う学校づくりの推進
	⑦小中一貫教育の推進

具体的な 取組内容	・義務教育課程の9年間を見通し、小中一貫した教育を進めます。
--------------	--------------------------------

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

【取組状況】
 平成26年度：「舞鶴市小中一貫教育在り方検討会議」からの提言を受けた。
 平成27年度：「舞鶴市小中一貫教育基本方針」を策定した。
 平成28年度～：モデル事業方式で導入開始。平成30年度までの全市導入を目指す。

【進捗状況】
 城北中学校区(1中4小)、加佐中学校区(1中2小)をモデル校区に指定
 ・コーディネーター(指導主事)2人による取組支援
 ・小小・小中連携事業に伴う移動手段(バス等)の手配
 ・ニュースレター、ホームページ等による情報発信 他
 平成29年度モデル校区の追加に向けた保護者・地域説明会の開催

※小中一貫教育推進事業費 6,828(千円)

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

平成29年度にモデル校区を追加(青葉・和田中学校区)し、指導主事による支援のほか、先行導入している城北・加佐中学校区による研究発表会を開催し、小中一貫教育の実践内容や成果を市内全ての中学校区で共有しながら、平成30年度までの全市導入を目指す。

担当課	教育企画課
-----	-------

第2編	まちづくり戦略を推進するための共通方策
第2節	持続可能な財政運営の推進

点検評価項目	1 持続可能な財政運営の推進
	(1) 財政の健全化の取組
	① 財政構造の弾力性の維持

具体的な取組内容	社会・経済情勢の変化に対応でき、安定的で持続可能な行財政運営を可能とするため、財政構造の弾力性を維持します。
----------	--

数値目標	経常収支比率					
	基準数値	86.90%	H30年度末 目標数値	80%台の維持	H28年度 実績数値	93.5% (H27実績)
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

財政構造の弾力性維持に向け、平成28年度予算編成においては、経常的経費を対象に各部一般財源ベースで一律5%の削減を実施し、その結果、経常経費約2.8億円の削減(経常収支比率換算で約1.4%改善に相当)を行った。

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

今後は、経常経費を低減させる従来の取組に加え、事務事業の棚卸しによるスクラップ&ビルドの推進等により弾力性に富んだ歳出構造へ移行させるとともに、歳入面においても、地方創生の推進による税収の拡大や、新たな財源の掘り起こしに取り組むなど、歳入歳出両面において財政の健全性維持に向けた取組を進める。ただ一方で、少子高齢化や人口減少の進展や行政サービスの質が建設事業などのハード系から福祉・子育てなどソフト系サービスに移行してきている現状からすると、経常収支比率の大幅な改善は見込みがたい状況にある。

担当課	財政課
-----	-----

第2編	まちづくり戦略を推進するための共通方策
第2節	持続可能な財政運営の推進

点検評価項目	1 持続可能な財政運営の推進					
	(1)財政の健全化の取組					
具体的な取組内容	②建設地方債の縮減と基金の弾力的活用					
	将来に責任ある財政基盤とするため、建設事業に係る市債を縮減するとともに、基金の弾力的な活用に努めます。 ○基金…116億円(平成25年度)、87億円(平成26年度見込み) ○市債…340億円(平成25年度)、362億円(平成26年度見込み) (上記いずれも一般会計関係分)					
数値目標	建設地方債残高					
	基準数値	222億円	H30年度末 目標数値	200億円	H28年度 実績数値	197億円
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

平成28年度予算編成においては、建設地方債の新規発行額(借入額)を同既発債の元金償還額(公債費)以下に抑制するとともに、補正予算も含め新規発行債の抑制に努めた。

≪28年度地方債発行額≫ 1,842,499千円 < ≪28年度元金償還額≫ 2,080,466千円

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

従前の取組を継続し、建設地方債残高の低減に取り組むとともに、大型建設事業に係る将来見通しの作成による建設地方債の発行予測と大型事業の年度間調整による財政需要と建設地方債の発行額の平準化等に取り組む中で、建設地方債の発行額と残高についての総額管理を行う。

総務文教委員会 新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画 点検評価項目進捗状況

No.	6
-----	---

第2編	まちづくり戦略を推進するための共通方策
第2節	持続可能な財政運営の推進

点検 評価 項目	1 持続可能な財政運営の推進
	(1) 財政の健全化の取組
	③ 中期的財政見通しに基づく計画的な財政運営

具体的な 取組内容	社会情勢や国・府の動向をふまえつつ、中期的な財政収支の見通しに立って、市民ニーズに即した事業へ優先的に財源配分を行います。
--------------	---

数値目標	—					
	基準数値	—	H30年度末 目標数値	—	H28年度 実績数値	—
	特記事項					

平成28年度取組・進捗状況

平成28年12月に将来5カ年に係る財政見通しを作成、概要について理事者説明を行ったが、庁内共有、庁外発信は行っていない状況。

これまでの取組・進捗状況を踏まえた今後の取組等について

財政の健全性を維持する取組の推進に当たっては、庁内外への財政の現状並びに将来見通しについての情報共有が必須であると認識しており、平成29年度は、中期的な将来見通しを作成し公表する。また、公表内容が情勢の推移に応じた内容となるよう、毎年度ローリングを行う。

担当課	財政課
-----	-----